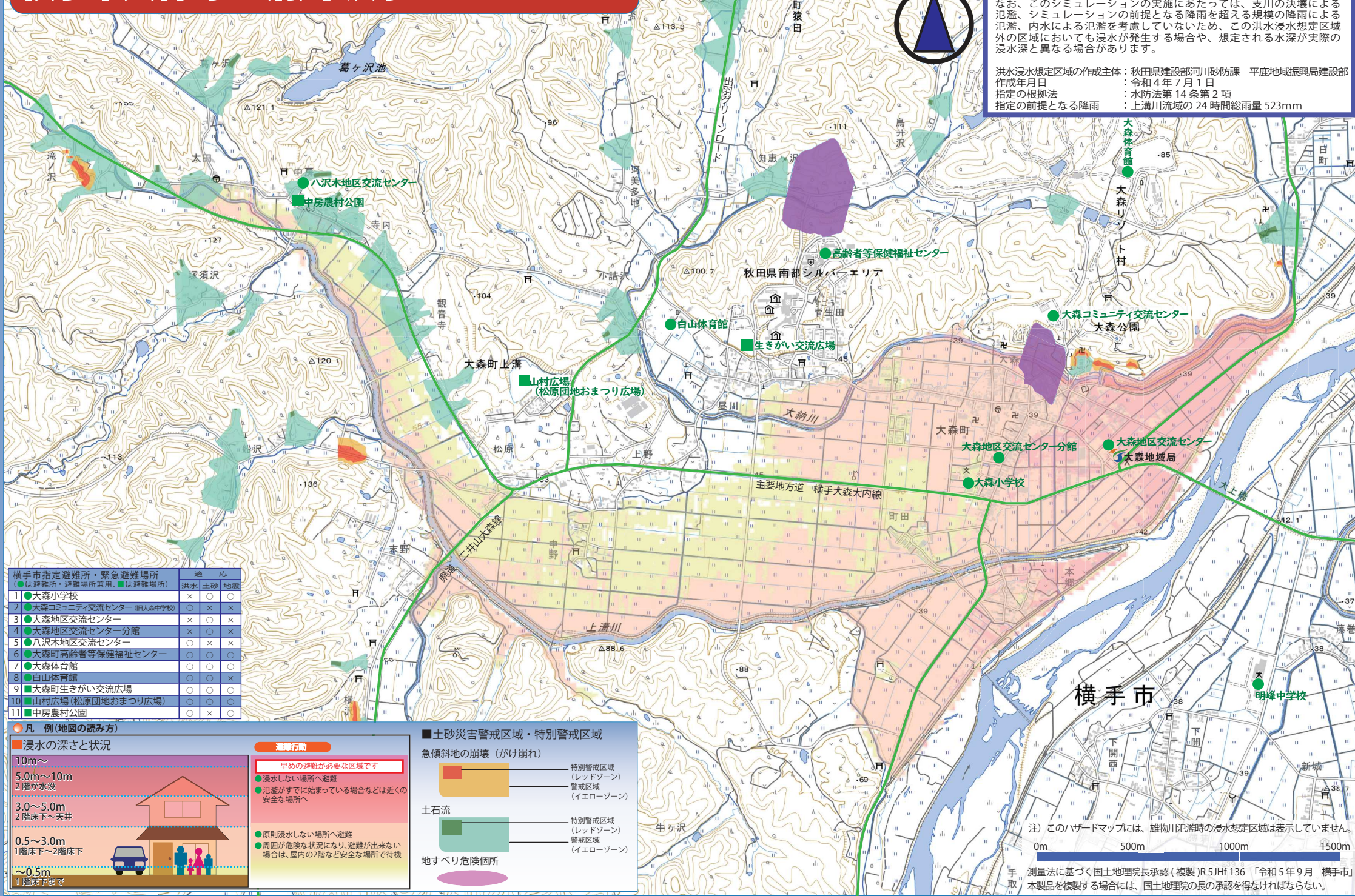


横手市大森町 上溝川 洪水ハザードマップ

想定最大規模の降雨による浸水想定区域
 この図は、法律に基づき、上溝川流域で2日間の総雨量が523mm（想定し得る最大規模の降雨）で上溝川が氾濫した場合の浸水の想定をシミュレーションしたものです。
 なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫を考慮していないため、この洪水浸水想定区域外の区域においても浸水が発生する場合は、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

洪水浸水想定区域の作成主体：秋田県建設部河川防課 平鹿地域振興局建設部
 作成年月日：令和4年7月1日
 指定の根拠法：水防法第14条第2項
 指定の前提となる降雨：上溝川流域の24時間総雨量523mm



横手市指定避難所・緊急避難場所 (●は避難所・避難場所兼用、■は避難場所)	対応	
	洪水	土砂 地震
1 ●大森小学校	×	○
2 ●大森コミュニティ交流センター (旧大森中学校)	○	×
3 ●大森地区交流センター	×	○
4 ●大森地区交流センター分館	×	○
5 ●八沢木地区交流センター	○	×
6 ●大森町高齢者等保健福祉センター	○	○
7 ●大森体育館	○	○
8 ●白山体育館	○	×
9 ■大森町生きがい交流広場	○	○
10 ■山村広場 (松原団地おまつり広場)	○	○
11 ■中房農村公園	○	×

凡例 (地図の読み方)

浸水の深さと状況

- 10m～
2階が水没
- 5.0m～10m
2階床下～天井
- 3.0～5.0m
2階床下～天井
- 0.5～3.0m
1階床下～2階床下
- ～0.5m
1階床下まで

避難行動

早めの避難が必要な区域です

- 浸水しない場所へ避難
- 氾濫がすでに始まっている場合などは近くの安全な場所へ
- 原則浸水しない場所へ避難
- 周囲が危険な状況になり、避難が出来ない場合は、屋内の2階など安全な場所で待機

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)

- 特別警戒区域 (レッドゾーン)
- 警戒区域 (イエローゾーン)

土石流

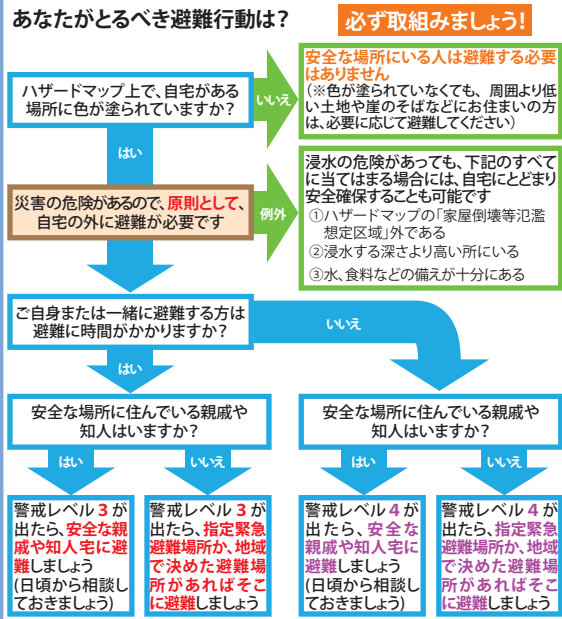
- 特別警戒区域 (レッドゾーン)
- 警戒区域 (イエローゾーン)

地すべり危険箇所

注) このハザードマップには、雄物川氾濫時の浸水想定区域は表示していません。
 測量法に基づく国土地理院長承認 (複製) JR 5JHF 136 「令和5年9月 横手市」
 本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

避難行動判定フロー

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。



避難情報と取るべき行動

災害発生危険性にあわせて、「警戒レベル」が発表されます。危険な場所にいる人は、警戒レベルにあわせて、危険な場所から避難しましょう。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保※1
＜警戒レベル4までに必ず避難＞			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示〔注〕
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁)

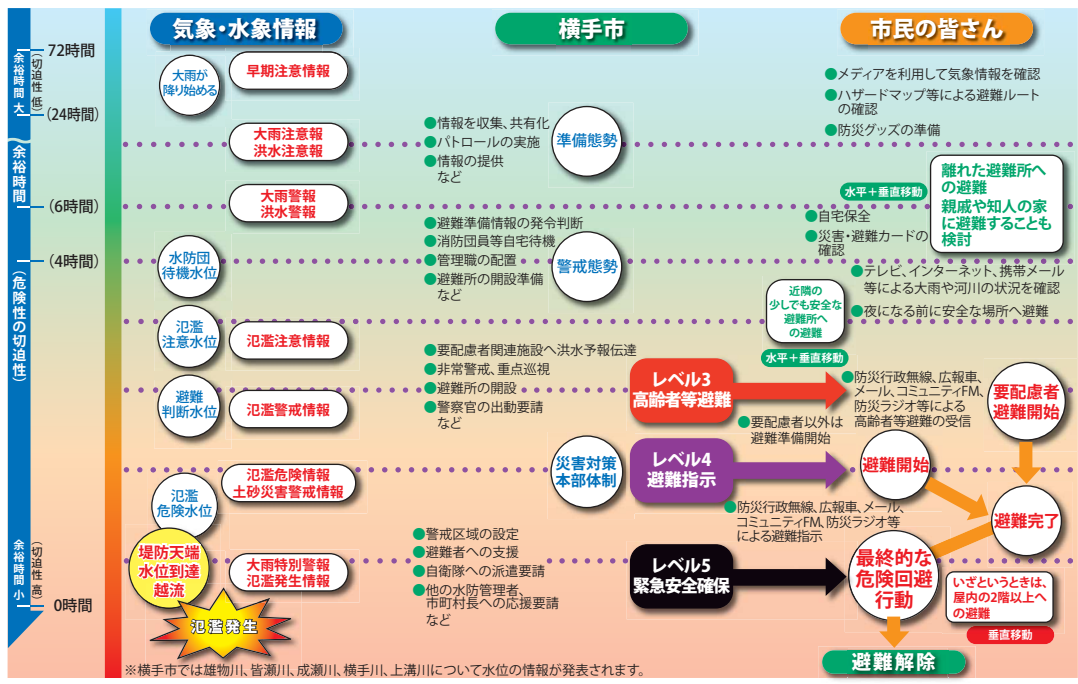
※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、【警戒レベル5】は、必ず発令されるものではありません。

※2 【警戒レベル3】は、高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。また、警戒レベル3を発令せずに警戒レベル4を発令することもあります。

〔注〕

- 安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。
- 避難時の状況によっては、指定された避難場所等へ向かうことにごとわず、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、その時点の最善な安全確保行動をとることが重要です。
- 感染症対策を考慮し、市が指定する避難場所以外の避難先を複数件決めておきましょう。

風水害時の行動 (タイムライン)



情報収集

災害時の避難行動を適切に行うためには、正確な情報を速やかに入手することが大切です。災害時の情報は、横手市、防災関係機関、マスメディアなどから、様々な手段で提供されます。

インターネット

横手市のホームページから、市の防災の取り組みや災害情報、防災情報などについて、情報提供を行います。

- 秋田地方気象台: 秋田県内の気象情報、防災情報観測情報など
- 横手市ホームページ
- 秋田県防災ポータルサイト

防災ラジオ

横手市では身近で手軽な災害時の情報伝達手段として、防災ラジオの無償貸与を行っています。緊急時に横手かまくらFMからの災害情報が放送される防災行政無線の機能をもったラジオです。

緊急時に自動的にスイッチが入る

- 無償貸与の対象となる方(世帯)
 - 65歳以上の高齢者のみの世帯
 - 障害者手帳をお持ちの方がいる世帯
 - 地域を見守る方たち(町内会長、民生児童委員、消防団幹部など)

通常はAM・FMの放送が聞ける

登録メール配信サービス「安全安心メール」

横手市では、防災行政無線の放送内容、気象・震度情報、災害情報をあらかじめ登録された携帯電話やパソコンに電子メールでお知らせするメール配信サービスを行っています。

よこて安全・安心メール renraku@renraku-dayo.jpからのメールを受信できるように設定してください。

テレビ・ラジオ放送

テレビ・ラジオを通じて、防災番組、緊急放送、文字情報での情報提供を行います。また、インターネットを通しても閲覧が可能です。

- 横手かまくらFM
- よこてれび

フェイスブック、X (旧ツイッター)

災害時には、市のホームページが閲覧できなくなることが想定されます。そのため、様々な手段を用いて情報発信ができるように各種SNSでも緊急情報等を発信します。

- 横手市公式フェイスブック
- 横手市 X (旧ツイッター)

緊急速報メール

携帯電話の「エリアメール」、「緊急速報メール」の機能を使って、高齢者等避難、避難指示、警戒区域情報、その他の緊急情報を横手市内の携帯電話に自動的にお知らせします。情報の受け取り方については、携帯電話会社のホームページを参照ください。

防災行政無線

市内に設置したスピーカーから、警戒情報や災害情報、避難に関する情報などをお知らせします。

広報車

災害時に出勤し、拡声器で注意を呼びかけます。

災害・避難カード (記入したら、コピーするか各自が携帯電話で撮影して保存)

災害別	一時避難場所 (集合場所)	避難先 (第一候補)	避難先 (第二候補)	家族の連絡先等				
				氏名	血液型	電話番号 (携帯・会社・学校)	メールアドレス	メモ
河川の氾濫								
土砂災害								
地震								

※被災地外の親戚・知人も記入しておきましょう。

非常時に持ち出すものは

非常時一次持ち出し品 (例)

- 飲料水
- 食料 (飴、チョコレートなど)
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 靴
- 軍手
- 予備のメガネ・コンタクトレンズ
- 筆記用具・ノート
- 下着・くつした
- 生理用品
- 雨具
- タオル
- 毛布又は寝袋
- 貴重品 (現金、保険証など)
- 医薬品・常備薬
- 防災頭巾・ヘルメット
- リュックサック
- マスク
- アルコール消毒液
- 体温計
- フェイスシールド

避難するときに備蓄品すべてを持ち出すことは困難です。リュックサックなどの非常持ち出し袋に入れて最優先で持ち出す一次持ち出し品と、避難生活が長引く場合に後で自宅に取りに行く二次持ち出し品に分けておくことが便利です。また、感染症対策として、マスク等も準備しましょう。

災害時は停電になる可能性があるため、ラジオの準備をしておきましょう。